

竹の有効利用でバイオマス発電、ORC 熱電併給設備を供給

NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）のバイオマスエネルギー導入促進プロジェクトにおいて、2019年8月にバンブーエナジー株式会社（熊本県玉名郡南関町、代表：岡田久幸）が熊本県内に竣工させたバイオマスプラントの発電システムに、総合機械商社の第一実業株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長：宇野一郎、以下「当社」）が販売総代理店を務めるイタリア・ターボデン社のORC（有機ランキンサイクル）が採用され、実証運転が開始されました。

本バイオマスプラントは、主に竹を有効利用したバイオマス燃焼炉とORC熱電併給設備を組み合わせたもので、原料に竹を利用するものとしては国内初となります。電力を小売電気事業者から購入し、熱をA重油ボイラーで供給する場合と比較すると年間で約1万9千トンのCO₂を削減することができます。

未利用資源となっている竹やバーク（樹皮）を原料にすることにより、荒廃竹林といった地域課題の解決のみならず、原料の安定調達において地域との連携強化につながり、事業の継続性が見込まれております。

当社は、各地域に存在するバイオマス資源を最大限に活用するための取り組みを強化し、今後も再生可能エネルギー事業を通じて地域産業の一助となるよう努めてまいります。



【ご参考】

NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）サイト

国内初の竹を有効利用したORC熱電併給設備が完成、実証開始へ
 —エネルギーの有効利用と竹林荒廃などの地域課題の解決を目指す—

https://www.nedo.go.jp/news/press/AA5_101181.html

以上

【お問い合わせ先】

第一実業株式会社

プラント・エネルギー事業本部 バイナリー発電システム部

TEL：03-6370-8641

経営企画室 IR・広報部

TEL：03-6370-8691